

令和4年（2022年）北海道森づくり研究成果発表会について

企業支援部 普及連携グループ 奥山 卓也

森林研究本部（林業試験場・林産試験場）では、森林整備や木材利用に関する研究成果、技術、活動事例をわかりやすく紹介し、本道における森づくりや木材利用に関する知識を深め、技術の向上を図ることを目的とした研究成果発表会を、北海道水産林務部と共催で毎年開催しています。

本年も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から期間限定のWeb配信で開催することになりました。

開催方法は、口頭発表についてはYouTubeチャンネル上に公開し、発表用ポスター（図参照）についてはホームページにて公開します。

※下記アドレスから閲覧できます。

<https://www.hro.or.jp/list/forest/research/fri/event/04seika.html>

※林産試験場ホームページからも成果発表会ページへ辿り着けます。

公開期間は口頭発表、ポスター発表ともに令和4年6月1日（水）から令和4年6月30日（木）までとなります。

口頭発表課題は、一般の部では、北海道森林管理局から1件、北海道水産林務部から1件、総合振興局から2件の計4件となります。

森林研究本部の部では、林業試験場から5件、林産試験場から5件の計10件となります。

林産試験場からは

- ・カラマツ類の材質及び強度的性質
- ・寸法安定性に優れた国産針葉樹合板の開発
- ・体育館床のフローリングの割れにつながる床材の動きを調査する
- ・木質バイオマスの熱分解による有用物質製造技術の開発
- ・野生型エノキタケ「2代目えぞ雪の下（仮称）」

を開発しました

を発表します。

このうち「カラマツ類の材質及び強度的性質」においては林業試験場の「カラマツ類の材の強度的性質に関わる遺伝的要因」との「コラボ型研究」として発表します。

なお、すべての口頭発表は内容を記したポスター

（図参照）も併せて公開しており、本誌今月号にも掲載されています。

本誌をご覧になり、内容に興味をもっていただけたらYouTube公開されている口頭発表を視聴していただけたらと思います。

ポスター発表は、一般の部では一般企業から1件、森林総合研究所から2件、総合振興局から1件の計4件、森林研究本部の部は、林業試験場7件、林産試験場14件の計21件をホームページへ掲載します。

本誌では7月号・8月号で林産試験場の口頭発表以外のポスター発表を掲載しますので、こちらもぜひご一読ください。

